

2013/07/30(火)15:07

授業コード	81T13
授業科目名	グローバル研究プロジェクトI (6)(前)
担当者名	広渡潔(ヒロワタリ キヨシ)
単位数	6
開講期別	2013年度 前期
曜日・時限	月曜4限 月曜5限 月曜6限
特記事項	
オフィスアワー	
講義の内容	国際金融はすぐれて経済学的な分野であると同時に、国際金融に影響を及ぼす各国の対外経済政策の運営にはその国益が反映し、政治経済的かつ国際関係論的な側面を有する分野である。加えて国際通貨制度は様々な歴史的な混乱を踏まえて形成されたもので、理論だけでなく歴史的なアプローチが国際金融を理解するうえで極めて重要である。このプロジェクトでは現在混乱状況にある国際通貨ユーロにつき、さまざまな切り口—経済、政治、歴史—を通じて分析していく。
到達目標	国際金融についての基本的な概念、特に為替相場制度、国際金融市場、基軸通貨制度などについてその理解を深める。それと同時に英文での経済、金融の論文を読みこなすなかで、その内容をきっちり整理し分析できる力を養う。その延長線で批評能力、および自分なりの意見、見方が形成できれば望ましい。
講義方法	教科書の各章ごとに担当を決めてプレゼンを行ってもらうが、毎回全員が各章ごとの要約を提出し、それを基に議論を行う。予習が大前提のプロジェクトとなる。
準備学習	特になし
成績評価	出席、レポート作成、質疑応答、議論への貢献度などで総合的に判断する。
欠席基準	授業実施回数の3分の1(端数は切り捨て)以上を欠席した場合は、単位を修得することができません。(「欠席」評価となります。)
講義構成	1回目:担当教員、プロジェクトのガイダンス、および学生同士の自己紹介、教科書のIntroductionの説明。 2-14回:各章ごとに担当を決めてプレゼン、かつ全員による要約提出、質疑応答と議論。 15回:総括
教科書	The Euro: The Politics of The New Global Currency by David Marshを教科書として使う。絶版であるがAmazonで入手可能であり、参加者はプロジェクト開始前に購入しておくこと
参考書・資料	「ユーロ破綻 そしてドイツだけが残った」(日経プレミアシリーズ)竹森俊平 「ユーロ 危機の中の統一通貨」(岩波新書)田中素香 「戦後世界経済史—自由と平等の視点から」(中公新書)猪木武徳
講義関連事項	
担当者から一言	
その他	
ホームページタイトル	
URL	